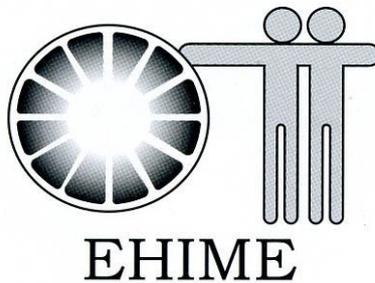


第 41 回
公益社団法人 愛媛県作業療法士会総会
議 案 書

期 日：令和 4 年 6 月 12 日（日）

時 間：14：00～15：30 受付 13:45～

会 場：愛媛県男女共同参画推進センター 研修室



公益社団法人 愛 媛 県 作 業 療 法 士 会

事務局 愛媛十全医療学院 作業療法学科

〒791-0385 愛媛県東温市南方 561

T E L 070-6476-8360

F A X 089-903-1318

会議次第

1. 開会のことば
2. 県士会長挨拶
3. 定足数報告
4. 議長の選任
5. 書記任命
6. 議事録署名人任命
7. 報告事項
 - 1) 令和4年度 事業計画及び予算案
8. 決議事項
 - 第1号議案 令和3年度 事業報告について
 - 第2号議案 令和3年度 決算報告について
 - 第3号議案 令和3年度 監査報告について
 - その他
9. 閉会のことば

【報告事項】

I. 令和4年度事業計画

(総括)

作業療法を取り巻く環境の変化は、作業療法士の働く周辺にも大きな変化をもたらしている。コロナ感染拡大による行動制限と医療機関のひっ迫した状況、県士会においても事業執行の停滞や実施形態の大きな変化、それに伴う新たな課題の発生。養成教育においても臨床実習実施に関しての大きな制約など、挙げればきりが無い状況である。

そのような中で、社会が求めているニーズも大きく変化しており、対応する事業と将来へ向けての基盤作りを見据えた事業展開が必要である。今回のような人の移動制限がなされる中でも事業が開催できる新たな実施形態や情報発信、研修会や学会などのハイブリット化、それらを運営できる人材育成は急務であると考えられる。

協会での入会率低下が深刻な中、県士会においても研修会や学会に参加しやすい環境と内容の充実、入会率低下の歯止めと休会者を減少させるために有効な手立てと思われる。合わせて作業療法士を目指す高校生への広報活動は引き続き必要不可欠な事業である。

もう一つ継続した取り組みとして災害時への対応体制の確立があげられる。今後の対応として外部団体や行政との連携、迅速に行動ができるよう、日頃からの体制構築は引き続き行わなければならない。また、県士会独自での連絡網体制の確立と会員への意識づけ、現実的な対応マニュアルの整備も必要である。

上記の内容を踏まえ、これまでの事業内容の見直しを進め、今年度の事業計画の指針としたい。

事業計画作成の基本方針

- ①事業計画は既存のものも含めて再検討を行い、必要があれば方向転換や新たに創設などを行う。
- ②研修会や学会等は実技等を除き、講義形式は基本的にハイブリット開催とする。
- ③事業活動には部員に新しい人材を登用し、人材育成を進める。
- ④高校生を対象とした広報活動をこれまでの実績を基に発展させる。
- ⑤災害対策について、体制作りと具体的な活動指針を策定する。
- ⑥女性会員が県士会活動に参加しやすい環境整備を行う。

II. 会議の開催

1. 総会

第41回総会

日時：令和4年6月12日（日）14：00～15：30 受付13：45～

場所：愛媛県男女共同参画推進センター 研修室

2. 理事会開催予定

理事会：4/21、5/19、6/13、7/21、9/15、10/20、11/17、1/19、2/16、3/16

III. 法人管理運営部門

1. 事務局

1) 総務部（文書、発送、福利厚生）

- (1) 発送作業や会員向け発信情報に関連すること。
 - ①封書での個人会員への発送回数は年4回とし、その他必要であればFAX送信。
 - ②基本的に議案書・学会誌や坊っちゃんニュース、研修会案内をまとめて掲載する。
 - ③必要な情報は、できるだけ当士会ホームページを閲覧してもらうようにする。
- (2) その他下記の内容
 - ①定款及び諸規程の運営に関すること
 - ②会員の地位向上及び待遇の向上に関すること
 - ③求人・就職状況調査および情報の提供に関すること
 - ④他団体や官公庁との連絡・調整に関すること

- ⑤会議案内、会議設営、接待に関すること
- ⑥儀礼関係、内外の来信に関すること
- ⑦機関誌等刊行物の発送に関すること
- ⑧会員の福利厚生に関すること
- ⑨その他、法人管理運営に関すること

4月 新入会オリエンテーション案内・坊っちゃんニュース等の発送物管理委託

5月 ①新入会オリエンテーション

日時：令和4年5月13日（金）19：00～20：00

場所：Microsoft Teams によるオンラインで実施

内容：「入会説明会」と「新人教育」 予定

入会説明：新入会書類（入会申込、会員引落）の受理

②総会議案書・委任状等の発送物管理・委託

8～9月 研修会案内等の発送物管理・委託

12月 ①県学会誌等の資料発送物管理・委託

②協会・都道府県士会への年賀状発送作業

2月 各養成校へ新卒者の愛媛県士会入会説明会の日程などの事前連絡

3月 愛媛県内の各養成校に卒業・入学祝い文 郵送

2) 管理部（名簿、備品管理）

- (1) 内外の文書保管
- (2) 刊行物の保管
- (3) 会員の入会・退会処理
- (4) 会員名簿の作成
- (5) OT協会会員管理システムの運用
※専用パソコンのメンテナンス
- (6) 会費の口座引き落とし用データ処理協力
- (7) 管理部会開催予定（年3回程度）

3) 財務部（資産、会費管理）

- (1) 預金と現金及び会計帳簿の管理並びに関係書類の整備、保管
- (2) 令和4年度会費の徴収に関する事務処理
- (3) 令和4年度四国作業療法士会連絡協議会等の会費の納入
- (4) 令和4年度補正予算の編成
- (5) 令和4年度決算処理
- (6) 令和5年度予算の立案
- (7) 報酬等の法定調書、支払調書作成と提出

4) 常設委員会（倫理、規約 委員会）

(1) 倫理委員会

- ①倫理に関する相談窓口の設置
- ②倫理に関する情報収集と啓発

(2) 規約委員会

- ①規約委員会の開催
- ②運営に則った規程内容であるかの確認、各規程の整合性の確認を行い必要に応じて修正及び変更を行う。
- ③本会の運営に必要と考えられる諸規程の追加を検討・提案・整備を行う。

5) 企画調整部

- (1) 理事・部局長との連絡事項に関して調整役としての実務を行う
- (2) 理事会議の準備・実施に関して実務を行う
- (3) 士会として取り組むべき内容について、企画調整・運営を行う

6) 選挙管理委員会

令和5年度役員改選の準備

令和5年3月～令和5年6月に実施予定の総会時での役員改選公示文書の作成

IV. 公益目的事業部門

1. 学術局

1) 学術部（学術研修会、オープンセミナー、学術誌編集 部門）

(1) 学術研修会部門

第56回 学術部研修会

日時：7月 オンラインにて実施

各テーマ・講師：地域在宅部門

「はいせつケア・リハ～はじめの一步」

メディケア・リハビリ訪問看護ステーション京都 山下 和典 OTR

(2) オープンセミナー部門

①第1回 整形疾患部門

日時：5月 オンラインにて実施

各テーマ・講師：「手関節障害に対する評価と治療」

昭和大学保健医療学部 作業療法学科 青木 啓一郎 OTR

②第2回 内部疾患部門

日時：9月 オンラインにて実施

各テーマ・講師：「知っておきたい心リハの基礎知識」

済生会松山病院 佐々木 隆一 OTR

(3) 学術誌編集部門

令和 4年 8月 ホームページへ原稿募集についてのお知らせを公開

12月 巻頭言依頼・原稿依頼

令和 5年 1月 原稿回収・編集

2月 校正確認・掲載内容承諾

3月 印刷依頼・発刊・納品・発送委託

2) 県学会運営部門

日 時：令和5年6月(県士会総会と合同で開催予定)

場 所：未定(県士会総会と同会場)

テ ー マ：未定

準備日程：令和4年 5月 第1回実行委員会開催(学会コンセプト検討・役割分担)

6月 第2回実行委員会開催(学会テーマの検討)

7月 第3回実行委員会開催(学会全体の構成検討)

8月 第4回実行委員会開催(学会全体の構成決定)

9月 第5回実行委員会開催(特別講師等決定)

一般演題エントリー開始(9月初旬)

10月 一般演題エントリー終了(10月末)

11月 第6回実行委員会開催 一般演題抄録締め切り(11月末)

12月 第7回実行委員会開催 一般演題査読終了(12月末)

令和5年 1月 第8回実行委員会開催

学会案内県士会 HP 掲載・OT 映えコンテスト応募開始 (1月初旬)

- 2月 第9回実行委員会開催
- 3月 第10回実行委員会開催
- 4月 令和5年度第1回実行委員会開催
学会誌完成・発送(4月中又は県士会総会議案書と併せて発送)
- 5月 令和5年度第2回実行委員会開催
必要備品・書類確認・準備
- 6月 第23回愛媛県作業療法学会開催
令和5年度第3回実行委員会開催(反省会・次回に向けた検討)

3) 教育部

(1) 現職者共通研修部門

今年度も teams を用いたオンライン研修予定の為、東予・南予での研修は実質中止。
新型コロナウイルスの流行状況次第では対面とオンラインの併用も検討。

【ナイトセミナー】

開催時期：令和4年 6月～11月予定

時 間：18:30～20:00

場 所：teams を用いたオンライン研修または対面式との複合

- ①実践のための作業療法研究 講師：認定 菅 隆一(松山リハビリテーション病院)
- ②作業療法の可能性 講師：理事 土居道康(南松山病院)
- ③保健・医療・福祉と地域支援 講師：久徳 壮一郎(愛ほっと訪問看護ステーション)
- ④作業療法生涯教育概論 講師：教育部長 沖 信吾(伊予病院)
- ⑤事例報告と事例研究 講師：認定 高岡 宏(松山赤十字病院)
- ⑥作業療法における協業・後輩育成 講師：山本 太一(老人保健施設 王子苑)
- ⑦職業倫理 講師：認定 福田 靖(愛媛十全医療学院)
- ⑧日本と世界の作業療法の動向 講師：認定 篠森 丞(松山赤十字病院)
- ⑨、⑩注) 事例検討・事例報告 講師：吉田 弘輝(松山赤十字病院)

※講師については依頼予定の為、変更の可能性あり。

(2) 現職者選択研修部門

①テーマ【生活行為向上マネジメント】1回

日付：令和4年12月 予定

講師：丹生谷 哲哉(愛媛十全医療学院)

久保 健二(美須賀病院)

時間：8:30～17:00

場所：teams を用いたオンライン研修または対面式との複合

②テーマ【 未定 領域】

講師：調整中(内容としては、身体・発達分野で、新人教育プログラム修了者以上、認定作業療法士を優先して決定する。)

日付：令和4年11月 予定

場所：teams を用いたオンライン研修または対面式との複合

時間：9:00～16:30

2. 制度対策局

1) 制度対策部

(1) 福祉用具対策部門

①福祉用具普及推進事業

目的：i. 福祉用具普及に向けた情報発信 ii. 医療や福祉現場での活用

対象：i. 一般の方 ii. 県士会員

目標：i. 対象者へ福祉用具を提供する時に参考にすることができる

ii. 県士会員や施設内での教育に利用できる

iii. 対象者やご家族に作業療法士の強みを発信できる

活動内容・手段

- i. 福祉用具の種類や使用方法、選定基準、注意事項、各施設での取り組み紹介等を文章、写真、動画で、ホームページに掲載する
- ii. 動画内容：2～3分程度

②資料作成および掲載時期

- i. 更新時期：2か月に1回、配信予定※連載期間は変動する場合がある
*令和3年度の実績として、4回掲載済み（令和3年度11月末時点）

③第9回えひめ福祉用具フェア

日程：令和4年度日付未定

場所：未定

内容：実行委員会を開催し、作業部会を中心に企画・運営が決定例年の主な役割はセミナー講師及び講師依頼、各ブース（福祉用具コーナー）の担当責任、自助具作成、来場者の福祉用具相談対応など

*えひめ福祉用具フェアが非開催の場合、会員向けに研修会を企画し、開催する。

(2) 情報収集調査部門

①令和4年度診療報酬改定についてのオンライン研修会開催

4月 研修会開催事前準備

5月 研修会実施

*会議回数 1回（4月） 研修会活動 1回（5月）

②令和3年度介護報酬改定後のアンケート調査

6.7.8月 アンケート作成

10月1日～10月31日を目安に各施設へアンケートを実施

11月 アンケート集計、県士会員への発信に向けた作業

*会議回数：5回（6月1回・7月1回・8月1回・11月2回）

③アンケート調査についての県学会での発表

12月結果考察 2月発表

→例年通り県学会でのセミナーにて発表予定

*会議回数 1回（12月）

④次年度計画（次年度調査内容の検討）

*会議回数 1回（9月）

(3) 松前事業

①フレイルチェック事業

日程：令和4年6月～3月予定

場所：各集会所、公民館（9地区予定）

参加人数：各地区20～30名程度

活動内容：認知機能評価、活動・社会参加状況調査

②複合型介護予防事業

日程：令和4年7月～3月予定

場所：各集会所、公民館（9地区予定）

参加人数：10～15名程度

活動内容：作業療法士、理学療法士、歯科衛生士の共同開催

1地区2回、1教室2時間予定

③介護予防普及事業：いきいきセカンドライフ講座

日程：未定（1回実施予定）

場所：松前町総合福祉センター

参加人数：40名程度

内容：認知機能についての講話

④介護予防出前講座

日程：未定

場所：自主グループの活動場所（公民館、集会所）

参加人数：各会場5名以上

内容：自主グループに対して認知症についての講話や二重課題などの提供

2) 男女共同参画部

(1) 事業内容：会員の出産育児休暇後のサポート体制の充実

リカレント研修等の実施

(2) 実施内容：①年6回の部会実施

②出産や育児、介護などの家庭生活と作業療法士としての活動の両立についての実態調査

③リカレント研修(年1回)

3. 地域局（南予・中予・東予の企画・運営 部門）

1) 南予地区

(1) 第22回南予支部研修会

(2) 大洲市 福祉と健康づくり 市民のつどい（11月予定）

(3) 健康フェスタ フジグラン北宇和島（12月予定）

(4) 勉強会・交流会

(5) 新人歓迎会

2) 中予地区

(1) 実行部門会 年3回予定

第1回：5月、第2回：8月、第3回：2月を予定

(2) 中予地区連絡網体制の整備

令和3年度の確認作業では返答率50パーセント以下で十分な連絡体制が取れているとはいえな
い状況であった。より効率の良い連絡方法や常に使用できるものに体制を整えていく

(3) 研修会や地域イベントなどへの参加協力

当士会へ依頼があった活動に参加協力する

3) 東予地区

(1) 実行委員会 年6回予定（MicrosoftTeams 会議含む）

実行委員会 6回予定

第36回研修会 9月予定

活動発表形式：講師

テーマ：東予地区の地域活動の詳細報告

会場：愛媛県士会事務局 若しくはレンタル会議室

(2) 東予地区施設連絡網の活用

(3) 東予地区会員の各市における活動報告会

(4) 各地域における事業への協力（要請時に対応する）

過去に協力した事業として

①川之江フジグラン健康フェスタ

②出前講座

③トークイ（福祉用具サービス計画書研修）など。

*その他事業に関しては要請時にその都度対応する。

(5) 地域局全体会

東予・中予・南予の3ブロック合同の全体会を試みる。（夏頃）

Zoomにて開催する。

4. 事業局

1) 支援部門（高次脳機能障害、認知症地域、精神障害、発達障害、災害リハ 支援部門）

(1) 高次脳機能障害支援部門

①委員会開催：年3回

開催場所：リモート開催予定（可能であればハイブリッド開催）

1回目：令和4年8月 2回目：令和4年11月 3回目：令和5年2月

*臨時開催もあり得る

②研修会：令和4年10月（予定）

テーマ：高次脳機能障害者の生活支援「就労支援」と「自動車運転支援」

講師：坂上 玲子氏（障害者就業・生活支援センター エール）

井野辺病院職員

③高次脳機能障害者を支援する会「あい」家族会への参加（月1回）

・毎月東予、中予、南予と持ち回り開催であり、各圏域の委員で参加できる者が参加する

・参加後は参加報告書を作成する

④愛媛県高次脳機能障害支援連絡協議会への出席（年2回）

・部門長が参加

⑤その他

・自動車運転支援や復職に向けた情報の収集・整理を行い、県士会員に向けた情報発信を行う。

(2) 認知症地域支援部門

①東中南予各ブロックにおいて地域支援活動・依頼事業の実施

・認知症サポーター養成講座実施

・えひめカンカン体操の宣伝と実施

・市町村からの依頼事業への対応

②認知症に対応できる作業療法士の育成支援

・アップデート研修

・認知症サポーター養成講座

・えひめカンカン体操 指導者養成事業

③認知症地域支援部門構成員の増員

・各市町で活躍できる人材を増やす（地元で活動できる体制作り）

④認知症の人と家族の会への協力

・講師派遣や研修会の周知等

(3) 精神障害支援部門

①コロナ禍での取り組みについて体験の共有

②1日 WRAP 研修会

③障がい者バレーボールの支援活動（練習が始まれば）

④年3回の部門会議開催

(4) 発達障害支援部門

①委員会開催：年3～4回

開催場所：愛媛県立子ども療育センター

②研修会：第9回発達支援研修会（日時・場所・講師：未定）

③勉強会：年1回（日時・場所・講師：未定）

(5) 災害リハビリテーション支援部門

①実行部門会 年3回予定

第1回：4月、第2回：7月、第3回：1月を予定

②災害リハビリテーション研修会

日時：令和3年8月頃を予定

会場：ハイブリット方式

内容：東日本大震災から10年以上が経過した今、作業療法士は何を準備してきたのか

③緊急連絡訓練

県士会員が所属する施設を対象にした緊急連絡網訓練を行う。

各施設に災害発生時報告用フォームの配布

2) 事業部（公開講座実行、活動集作成 部門）

(1) 公開講座の開催

開催日時：10月22日(土) AM9:30~PM12:40

会場：TKPカンファレンスセンター市駅前

内容：コロナ禍でも活かせる転倒予防の理論と実践

対象：家族や他職種、リハ専門職など介護予防に携わる方々

講師：日本転倒予防学会 理事長 武藤 芳照 先生

一般社団法人介護エンターテイメント協会 作業療法士 石田 竜生 先生

(2) 活動集（お役立ち集）の作成

・転倒予防に関する福祉用具の紹介（福祉用具対策部門と共同にて）、各地域での予防体操に関わる作業療法士と取り組みの紹介、生活支援コーディネーターの紹介

・発行部数 100部程度

(3) 地域に関わる作業療法士養成事業

・地域で活動する作業療法士の養成と、その展開に関する知識と技術の向上を目的とする。

・リハビリテーション専門職協会との共同開催及び地方局と連携をとる予定

・開催日は、令和4年の9月~12月予定。

・内容は検討中

(4) 作業療法の啓発活動

・公開講座での作業療法の紹介や活動集の展示・配布などを行なう。

・他部門への活動集の配布案内を行う。

(5) 派遣事業（スカラシップ制度）

・HPや県士会からの文章での案内にて、県士会員が希望する研修会を含め公募。審議及び審査にて選考を行ない派遣する。

・研修会参加後、事業部などの開催する研修会・勉強会において、県士会員への伝達を行う。

(6) 実行委員会 概ね6回/年 必要時適時臨時で開催

5. 渉外広報局

1) 渉外部（派遣事業、折衝調整 部門）

(1) 公的団体・公的事業への参加・協力

(2) 市町村・公的団体開催の講演会・イベント等への人材派遣

(3) 渉外部会開催予定

(4) 各種折衝活動と各部との協力（活動費・派遣費支給）

委託事業等への協力

OT啓発活動への折衝協力

他県作業療法士会との交流・情報交換会など

2) 広報啓発部（士会ニュース作成、ホームページ管理、広報（広報啓発） 部門）

(1) ニュースの作成

8月 坊っちゃんニュース 95号発行

12月 坊っちゃんニュース 96号発行

3月 坊っちゃんニュース 97号発行

各1,200部の発行（発行部数は新入会員数に合わせて調整する）

(2) 一般の方に向けての広報活動

・高校生への広報活動：愛媛県作業療法士会会員の所属する各施設への見学会（新型コロナウイルスの蔓延状況に合わせてWeb見学会となる可能性もあり）

・高校生向けのパンフレット作製

- (3) ホームページや SNS の管理
Twitter での情報発信（ホームページに掲載する記事）、SNS での情報発信
- (4) ノベルティグッズ作製
愛媛県作業療法士会やオッティークんの QR コードなどを印刷したクリアファイルなどの作製

V. 特設委員会（四国学会実行委員、訪問リハ実行委員、臨床実習指導者講習会運営委員）

1) 愛媛県訪問リハビリテーション研修会実行委員会（PT・OT・ST 共催）

- (1) 訪問リハ・地域リーダー会議への参加
- (2) PT・ST 士会との実行委員会の開催
- (3) 愛媛県訪問リハ実務者研修会の実施
- (4) 愛媛県リハビリテーション専門職協会との連携による「愛媛県リハビリテーション専門職広域派遣調整事業」への協力

2) 臨床実習指導者講習会運営委員会

年 2 回開催予定。開催時期未定。

令和4年度予算案について

令和4年度収支予算書内訳表

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位:円)

科目	公益目的 事業会計	法人会計	合計
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常利益			
① 特定資産運用益			
特定資産受取利息	0	0	0
② 受取入会金			
受取入会金	50,000	50,000	100,000
③ 受取会費			
正会員会費	4,920,000	4,920,000	9,840,000
賛助会員会費	0	0	0
④ 受取補助金等			
受取補助金	0	0	0
⑤ 受取寄付金			
受取寄付金	0	0	0
⑥ 受取事業収入			
受託事業収入	733,000	0	733,000
研修会等参加費収入	300,000	0	300,000
その他	0	0	0
⑦ 雑収入			
受取利息収入	0	1,000	1,000
その他	0	0	0
経常収益計	6,003,000	4,971,000	10,974,000
(2) 経常費用			
① 事業費			
会議費	1,380,000	0	1,380,000
旅費交通費	944,000	0	944,000
通信運搬費	485,000	0	485,000
減価償却費	0	0	0
消耗什器備品費	531,000	0	531,000
印刷製本費	1,468,000	0	1,468,000
会場費	248,000	0	248,000
保険料	30,000	0	30,000
諸謝金	1,817,000	0	1,817,000
支払負担金	1,000,000	0	1,000,000
支払手数料	52,000	0	52,000
事業費計	7,955,000	0	7,955,000
② 管理費			
福利厚生費	0	50,000	50,000
会議費	0	250,000	250,000
旅費交通費	0	400,000	400,000
通信運搬費	0	800,000	800,000
消耗什器備品費	0	200,000	200,000
印刷製本費	0	400,000	400,000
支払負担金	0	0	0
支払手数料	0	400,000	400,000
賛助会費	0	20,000	20,000
光熱水料費	0	100,000	100,000
賃借料	0	330,000	330,000
雑費	0	200,000	200,000
管理費計	0	3,150,000	3,150,000
経常費用計	7,955,000	3,150,000	11,105,000
評価損益等調整前当期計上増減額	-1,952,000	1,821,000	-131,000
評価損益等	0	0	0
当期経常増減額	-1,952,000	1,821,000	-131,000
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計へ振替額	1,700,000	-1,700,000	0
当期一般正味財産増減額	-252,000	121,000	-131,000
一般正味財産期首残高	325,206	5,906,966	6,232,172
一般正味財産期末残高	73,206	6,027,966	6,101,172
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	73,206	6,027,966	6,101,172

【決議事項】

第1号議案：令和3年度 事業報告について

I. 令和3年度 事業報告

(総括)

令和3年度は引き続きコロナ対策に腐心する年度となった。事業のハイブリット化を推進し、そのための設備、通信環境を整え、運用方法を検討した。講習会・研修会でのハイブリット化は一定の実績をあげていると感じている一方で、課題も明らかになってきている。ハイブリット化は会員の参加の機会を広げる一方で、質の担保の難しさ、実技講習には向かない等が喫緊の課題となっている。県士会事業は会員の資質向上をもって県民の医療・福祉に貢献することを目的の一つとしている。開催すれば良いというわけではなく、参加者に意義のある場を提供してこそ本来の目的を達すると思われる。今後もより良い開催方法の検討が必要である。

令和3年度は改選によって理事の半数が一新され、それに伴った組織改編も実施し、スムーズな業務移行に注力した。県士会の次世代を担う新理事の皆さんに、これまで蓄積された県士会の財産を引き継いでもらおうと同時に、新たな運営方法も模索していただいた。女性理事も増え、新たな視点での取り組みも提案されている。

コロナ感染拡大の収束が見通せない中、現状の課題に対応しつつ with コロナ、そして after コロナを見据えた1年間だったと感じている。

II. 会議の開催

1. 総会

第40回総会

日時：令和3年6月13日(日) 14:30~15:30 受付13:45~

場所：愛媛県男女共同参画推進センター

2. 理事会

第1回 理事会

日時：令和3年 4月21日(水) 19:00~21:00 場所：オンライン

第2回 理事会

日時：令和3年 5月19日(水) 19:00~21:00 場所：オンライン

第3回 理事会

日時：令和3年 6月13日(日) 15:40~16:32 場所：愛媛県男女共同参画推進センター

第4回 理事会

日時：令和3年 7月21日(水) 19:00~21:00 場所：愛媛県作業療法士会事務所

第5回 理事会

日時：令和3年 9月15日(水) 19:00~21:00 場所：オンライン

第6回 理事会

日時：令和3年 10月20日(水) 19:00~20:45 場所：オンライン

第7回 理事会

日時：令和3年 11月17日(水) 19:00~21:30 場所：愛媛県作業療法士会事務所
(オンライン併用)

第8回 理事会

日時：令和4年 1月19日(水) 19:00~21:40 場所：愛媛県作業療法士会事務所
(オンライン併用)

第9回 理事会

日時：令和4年 2月16日(水) 19:00~21:30 場所：愛媛県作業療法士会事務所
(オンライン併用)

第10回 理事会

日時：令和4年 3月16日(水) 19:00~21:00 場所：愛媛県作業療法士会事務所
(オンライン併用)

Ⅲ. 法人管理運営部門

1) 総務部（文書、発送、福利厚生）

- (1) 発送作業や会員向け発信情報に関連すること。
 - ①封書での個人会員への発送回数は年4回とし、その他必要であればFAX送信。
 - ②基本的に議案書・学会誌や坊っちゃんニュース、研修会案内をまとめて掲載する。
 - ③必要な情報は、できるだけ当士会ホームページを閲覧してもらうようにする。
- (2) その他下記の内容
 - ①定款及び諸規程の運営に関する事
 - ②会員の地位向上及び待遇の向上に関する事
 - ③求人・就職状況調査および情報の提供に関する事
 - ④他団体や官公庁との連絡・調整に関する事
 - ⑤会議案内、会議設営、接待に関する事
 - ⑥儀礼関係、内外の来信に関する事
 - ⑦機関誌等刊行物の発送に関する事
 - ⑧会員の福利厚生に関する事
 - ⑨その他、法人管理運営に関する事

4月 新入会オリエンテーション案内・坊っちゃんニュース等の発送物管理委託

5月 ①総会議案書・委任状等の発送物管理・委託

②新入会オリエンテーション

日 時：令和3年5月15日（土）19:00～20:00

場 所：Microsoft Teams によるオンラインにて実施

内 容：「入会説明会」と「新人教育」

参加者：19名

③新人交流会

新型コロナウイルス感染拡大予防のため、中止となる。

12月 ①研修会案内等の発送物管理・委託

②県学会誌等の資料発送物管理・委託

③協会・都道府県士会への年賀状発送作業

3月 愛媛県内の各養成校に卒業・入学祝い文 郵送

2) 管理部（名簿、備品管理）

- (1) 内外の文書保管
- (2) 刊行物の保管
- (3) 会員の入会・退会処理
- (4) 会員名簿の作成
- (5) OT協会会員管理システムの運用
※専用パソコンのメンテナンス
- (6) 会費の口座引き落とし用データ処理協力

3) 財務部（資産、会費管理）

- (1) 預金と現金及び会計帳簿の管理並びに関係書類の整備、保管
- (2) 令和2年度決算処理及び決算報告書の作成
- (3) 令和3年度会費の徴収に関する事務処理
- (4) 令和3年度における関連団体への賛助会費及び負担金の納入
- (5) 令和3年度補正予算の編成
- (6) 令和4年度予算の立案
- (7) 令和3年分報酬等の税務処理

4) 常設委員会（倫理、規約 委員会）

(1) 倫理委員会

- ①倫理問題に対する相談、対応
- ②倫理委員の増員にて相談窓口の増加
- ③倫理問題ガイドブック（愛媛県版）検討

(2) 規約委員会

- ①定款及び諸規程の整合性の確認作業を継続して実施
- ②規約委員会の開催
日時：令和4年1月31日（月）20：30～21：30
場所：ZOOMでのオンライン会議
内容：i．定款及び諸規程の整合性などの確認作業を実施
ii．新たに整備の必要性のある規程はないか意見交換を実施
iii．ホームページ上での諸規程の公開範囲について検討

5) 企画調整部

- (1) 理事会の開催調整
- (2) 事務所の使用、teamsの共用アカウント、zoomアカウントの管理、調整
- (3) 企画調整部会の開催

「研修会オンデマンド配信に向けて」の企画開催

- ①日 時：令和3年12月2日（木）19:30-20:30
場 所：WEB会議(Teams)
参加者：福田 靖・沖 信吾・中村 匡秀・土居 玲香
内 容：研修会をオンデマンド配信する計画に関して
・今後の研修会の方向性の確認
・他企業や団体のオンデマンド配信状況の把握
・配信ツールの選考
・ポイント付与についての確認
- ②日 時：令和4年2月22日（火）19:30-20:30
場 所：WEB会議(Teams)
参加者：福田 靖・沖 信吾・中村 匡秀・土居 玲香
内 容：研修会をオンデマンド配信する計画に関して
・配信ツールの再考
・オンデマンド配信の承諾に関して
・オンデマンド配信開始時期について

6) 選挙管理委員会

- (1) 令和3年3月22日～5月4日
愛媛県作業療法士会理事および監事の立候補届を受理。立候補の届け出があった時に、随時受理証を発送。
- (2) 令和3年5月19日
選挙結果を告示。定員を満たしているため、無投票当選となる（立候補者である理事10名、監事1名、理事会推薦での理事4名）。
- (3) 令和3年6月13日
総会時に選挙結果を報告。

IV. 公益目的事業部門

1. 学術局

1) 学術部（学術研修会、オープンセミナー、学術誌編集 部門）

(1) 学術部研修会部門

第54回 学術部研修会

日 時：令和3年7月18日（日） 13:00～15:00

場 所：オンライン

参加者：合計：45名

テーマ・講師：内部部門

「進行がん患者様に対する作業療法」

県立静岡がんセンター 田尻 寿子 OTR

(2) オープンセミナー部門

【第1回】

日 時：令和3年5月23日（日） 9:00～11:00

場 所：オンライン

参加者：合計：53名

テーマ・講師：整形部門

「高齢者に多い骨折」 土居内科外科医院 中村 篤志 Dr

【第2回】

日 時：令和3年6月27日（日） 9:30～11:30

場 所：オンライン

参加者：合計：60名

テーマ・講師：地域在宅部門

「福祉用具で豊かな生活を - 知っているようで知らない福祉用具 -」

松山リハビリテーション病院 白方 一範 OTR

【第3回】

日 時：令和3年8月22日（日） 9:30～11:30

場 所：オンライン

参加者：合計：35名

テーマ・講師：小児部門

「ソーシャルスキルトレーニング・放課後等デイサービス・eスポーツ」

株式会社マルク 代表取締役 北野 順哉 様

放課後等デイサービス統括マネージャー

マルクスコラ はなみずき教室 富永 一史 様

【第4回】

日 時：令和3年9月12日（日） 10:00～12:00

場 所：オンライン

参加者：合計：30名

テーマ・講師：精神部門

「統合失調症患者の歩行の特徴、および運動療法

(Basic Body Awareness Therapy) の試み～」

土佐リハビリテーションカレッジ作業療法学科 萩原 賢二 OTR

【第5回】

日 時：令和3年10月24日（日） 9:30～11:30

場 所：オンライン

参加者：合計：50名

テーマ・講師：中枢部門

「車椅子でのADL」 南松山病院 岡田 英剛 OTR

「回復期でのADL介入-早出遅出介入を通して」

松山リハビリテーション病院 平野 智彦 OTR

(3) 学術誌編集部門

- 令和3年 8月19日 ホームページへ原稿募集についてのお知らせを掲載
11月 9日 委員による原稿依頼実施
11月16日 巻頭言の依頼
令和4年 1月～2月 原稿回収と編集作業、校正のチェック実施
2月28日 投稿者への掲載内容の最終確認と承諾
印刷業者へ依頼
3月 7日 最終校正確認と印刷依頼
3月25日 納品
3月26日 国会図書館・医学中央雑誌刊行会・科学技術振興機構に
令和3年度の県士会誌を納本
発送業者への委託

3) 県学会運営部門

第22 愛媛県作業療法学会

日 時：令和4年1月23日（日）

会 場：WEB 開催 (ZOOM アプリを利用)

テーマ：「活」～新時代へのステップアップ～

内 容：特別講演・シンポジウム 一般演題発表8演題 県士会活動報告 OT 映えコンテスト

参加者：68名

(実行委員:11名、特別講師・シンポジスト:4名、座長:2名、一般演題発表者:8名含む)

2) 教育部（現職者共通、選択研修）

(1) 現職者共通研修

場 所：オンラインセミナー (Microsoft teams)

時 間：18:30～20:00

- ①実践のための作業療法研究 令和3年8月13日
講 師：認定作業療法士 菅 隆一(松山リハビリテーション病院)
参加者：17名
- ②作業療法の可能性 令和3年7月30日
講 師：土居道康(南松山病院)
参加者：23名
- ③保健・医療・福祉と地域支援 令和3年8月6日
講 師：久徳 壮一郎(愛ほっと訪問看護ステーション)
参加者：21名
- ④作業療法生涯教育概論 令和3年10月1日
講 師：愛媛県作業療法士会理事 沖 信吾(伊予病院)
参加者：19名
- ⑤事例報告と事例研究 令和3年9月17日
講 師：認定作業療法士 高岡 宏(松山赤十字病院)
参加者：21名
- ⑥作業療法における協業・後輩育成 令和3年9月3日
講 師：認定作業療法士 山本 太一(老人保健施設 王子苑)
参加者：27名
- ⑦職業倫理 令和3年10月8日
講 師：認定作業療法士 福田 靖(愛媛十全医療学院)
参加者：18名
- ⑧日本と世界の作業療法の動向 令和3年7月9日
講 師：認定作業療法士 篠森 丞(松山赤十字病院)
参加者：9名

⑨ ⑩事例検討・事例報告 令和3年12月17日

講師：認定作業療法士 吉田 弘輝（松山赤十字病院）

参加者：事例検討 11名・事例報告 8名

(2) 現職者選択研修

①身体障害領域

日付：令和3年11月20日

場所：オンラインセミナー（Microsoft teams）

時間：9:00～16:30

講師：テーマ1：身体障害領域の基礎知識

講師：香川 久圭（四国中央医療福祉総合学院）

テーマ2：急性期の作業療法

講師：高岡 宏（松山赤十字病院）

テーマ3：回復期の作業療法

講師：菅 隆一（松山リハビリテーション病院）

テーマ4：生活期・終末期の作業療法

講師：沖 信吾（伊予病院）

参加者：12名

②MTDLP 基礎研修

日付：令和3年6月25日

場所：オンラインセミナー（zoom）

時間：9:00～16:20

講師：久保 健二 美須賀病院

丹生谷 哲哉 愛媛十全医療学院

OT参加者：26名 PT参加者 10名

(3) MTDLP 部門

新型コロナウイルス感染症の影響により、非実施。

2. 制度対策局

1) 制度対策部

(1) 福祉用具対策部門

①福祉用具普及推進事業

i. 愛媛県作業療法士会のホームページへの動画や資料の掲載

令和3年4月24日 「電動ベッドの使い方」

令和3年7月10日 「トランスファーボードの使い方」

令和3年9月2日 「車椅子の選び方①」

令和4年2月12日 「車椅子クッションについて①」

令和4年2月22日 「ソックスエイドについて」

ii. 愛媛県作業療法士会のホームページへの掲載資料の作成

・トランスファーボードについて（動画撮影）

日程：令和3年6月15日（火曜日） 18時00分～19時15分

令和3年6月18日（日曜日） 18時00分～18時30分

場所：松山赤十字病院

参加：篠森 丞、眞鍋 綱介 計2名

・車椅子クッションについて（動画撮影）

日程：令和3年11月19日（金曜日） 18時00分～18時30分

令和3年11月25日（木曜日） 18時00分～18時30分

場所：南松山病院

参加：岡田 英剛、竹尾 昴洸 計2名

- ・ソックスエイドについて（動画撮影）
 日程：令和4年2月16日（水曜日） 18時00分～18時30分
 令和4年2月17日（木曜日） 18時00分～18時30分
 場所：松山リハビリテーション病院
 参加：白方 一範、村田 早紀 計2名

②定例会議（オンライン）

令和4年度の事業計画について（詳細は議事録参照）

日 時：令和3年11月4日（木）19:30～20:20

場 所：オンライン開催(microsoft teams)

参加者：近藤 優磨・白方 一範・川崎 祐太郎・萬條 翔也・岡田 英剛・大西 真純
 竹尾 昂洸・村田 早紀・眞鍋 綱介 計9名

③第9回えひめ福祉用具フェア

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、開催は中止

④令和4年度の公開講座におけるお役立ち集の作成（事業部と合同事業）

事業部との合同会議（公開講座の内容共有と役割確認）

日程：令和4年2月28日（月曜日） 20時00分～

場所：オンライン（zoom）

参加：近藤 優磨、白方 一範、村田 早紀 計3名

(2) 情報収集調査部門

①感染対策状況及び働き方改革の経過についての調査

- ・感染対策状況及び働き方改革の経過についての Web アンケートを作成し当県士会員 1158 名を対象にアンケートを実施。
- ・アンケート結果は愛媛県作業療法士会 HP に掲載し、第 22 回愛媛県作業療法学会で報告した。
 事業実施：6 回（令和 3 年 6 月・7 月・8 月・11 月(2 回実施)・12 月)

②来年度の事業計画についての検討

事業実施：1 回（令和 3 年 8 月）

2) 松前事業

(1) 松前町 フレイルチェック事業

日 程：令和3年7月～令和4年1月

場所（公民館）：昌農内、西高柳、西古泉、恵久美、上高柳、大間、北川原、塩屋（計：8 地区）

参加人数：昌農内 8 名、西高柳 15 名、西古泉 18 名、恵久美 13 名、上高柳 7 名、大間 14 名、
 北川原 18 名、塩屋 3 名

活動内容：認知機能評価、社会参加・生活状況調査を各地区 2 回（初期・最終）実施

※新型コロナウイルス感染症の影響により、恵久美、上高柳、大間、北川原、塩屋地区の最終フレイルチェックは非実施。

(2) 松前町 複合型介護予防事業

日 程：令和3年11月～令和4年1月

場所（公民館）：昌農内、西高柳、西古泉、恵久美、上高柳、大間、北川原、塩屋（計：8 地区）

参加人数：昌農内 7 名、西高柳 10 名、西古泉 10 名、恵久美 10 名、上高柳 7 名、大間 10 名

活動内容：作業療法士、理学療法士、歯科衛生士の共同開催

1 地区計 4 回（OT メイン授業 1 回：内容 認知機能・活動・社会参加）、1 教室 2 時間実施。

※新型コロナウイルス感染症の影響により、恵久美、上高柳、大間地区は初回のみ実施し中止。

北川原、塩屋地区は事業中止。

(3) いきいきセカンドライブ講座（松前町一般市民講座）

場 所：松前町総合福祉センター

参加対象者：松前町在住の高齢者

- ・令和3年6月1日：認知症を理解し、対応と予防を知る

参加者：22 名

- ・令和3年8月10日：足腰が弱くなった時の対処方法～車椅子を中心に～

参加者：21名

(4) 松前町介護予防出前講座

内容：脳活トレーニング

令和3年10月26日：北黒田地区 13名

令和3年11月10日：恵久美地区 8名

令和3年11月17日：昌濃内地区 11名

令和3年11月24日：筒井地区 15名

令和3年12月6日：神崎地区 7名

3) 男女共同参画部門

事業内容の検討

- ・会員の出産育児休暇後のサポート体制を充実させる
- ・リカレント研修等の実施

3. 地域局（東予地区、南予地区、中予地区の企画・運営部門）

1) 南予地区

(1) 委員会開催

実績：5回開催（全てオンライン会議）

(2) 各地域や病院・施設間でのコミュニティを作る 未実施

(3) 第20回南予支部研修会

日時：令和4年3月6日 10:00～12:00

方法：ZOOMでのオンライン研修

テーマ：多職種協働で作り上げる地域包括ケア

講師：藤田 健次

実績：作業療法士36名、他職種28名（17施設） 計64名の参加

他職種内訳 主任介護支援専門員・介護支援専門員・保健師看護師・理学療法士・
事業責任者

(4) 大洲市 福祉と健康づくり 市民のつどい 中止

(5) 健康フェスタ フジグラン北宇和島 中止

(6) 地域ケア会議

実績：西予市、大洲市、内子町の会議に介入。

(7) その他事業（サロン対応）

実績：西予市、大洲市、内子町のサロン活動に介入。

2) 中予地区

(1) 地域局中予地区部会

年2回実施（9月、2月）

(2) 地域局中予支部連絡網の確認

登録施設125施設中47件の返信

(3) 中予地区会員施設に対し情報配信

愛媛県リハビリテーション専門職協会（2件）

3) 東予地区

(1) 実行委員会 6回開催

令和3年4月23日、7月2日、8月13日、10月8日、11月12日

令和4年2月4日

(2) 第35回東予地区研修会

日時：令和3年12月5日9:00～11:40

場所：Zoom（Web開催）、配信場所として河原医療大学校を利用

テーマ：コロナ禍における地域活動の状況や各施設での取り組みについて

①愛媛県リハビリテーション専門職協会の活動実績、
地域リハビリテーション支援体制構築に向けた動き

②各施設・各分野でコロナに対する取り組みや連携について情報交換

形式：講義（オンライン研修会）

講師：愛媛県リハビリテーション専門職協会 会長 吉野 一弘

参加者：19名

(3) 東予地区連絡網の再整備

- ・令和3年4月現在、会員が所属している施設の調査
- ・連絡網の作成

4. 事業局

1) 支援部門（認知症地域、発達障害、高次脳機能障害、精神障害、災害、難病 支援部門）

[高次脳機能障害支援部門]

(1) 委員会：リモート開催（microsoft teamsにて実施）

1回目 令和3年10月6日（水） 7名出席

2回目 令和4年1月24日（月） 9名出席

(2) 研修会

事業部と合同開催（第33回 公開講座）

日時：令和3年10月17日（日）9:00～13:00

場所：松前総合文化センター+WEB開催

テーマ：「高次脳機能障害を有する方の自動車運転再開に向けた取り組み」

日程：9:15～ 受付開始

9:50～ 開会挨拶

10:00～11:00 特別講演

「高次脳機能障害を有する方の自動車運転再開に向けた取り組み」

講師：岩佐 英志（日本作業療法士協会理事）

休憩 10分

11:10～11:50 活動報告

「停止車両評価を用いた取り組みについて」

松山リハビリテーション病院 OT 清水 勇志

「実車車両評価に関する取り組みについて」

西条市民病院 OT 山口 千比呂

「自動車運転シミュレータを用いた取り組みについて」

伊予病院 OT 成田 郁美

12:00 研修会終了

(3) 高次脳機能障害者を支援する会「あい」家族会への参加

コロナ感染予防対策のため令和3年7月（松山市）のみ開催

当部門からの参加はなし

(4) 愛媛県高次脳機能障害支援連絡協議会：中止

(5) 「運転と作業療法委員会 都道府県士会協力者会議」への参加：

令和3年1月24日（土）：ZOOMによるオンライン形式：

参加者：松山リハビリテーション病院 平野 智彦

[認知症地域支援部門]

(1) 依頼事業の実施

①認知症サポーター養成講座

日時：令和3年7月13日（火） 10時～11時30分

会場：伊予市

対象：伊予市郵便局員

講師：藤田 健次

参加者：12名

②西条市シニアライフ応援講座

担当：近藤 竜也、山内 由香里、月原 杏奈

⇒感染症拡大のため中止

(2) えひめカンカン体操 指導者養成事業

内容：令和3年度「認知症アップデート研修会」

認知症基礎研修（認知症サポーター養成講座）90分

認知症地域支援活動（えひめカンカン体操演習）90分

日時：令和3年12月11日（土）14時～17時

会場：WEB開催

講師：近藤 竜也、大崎 雅俊

参加者：37名（OT35名、PT2名）

(3) えひめカンカン体操に関するアンケートの分析報告

令和3年8月31日発行 坊ちゃんニュース第92号に掲載済

(4) 認知症の人と家族の会への協力

本年度は協力依頼等なし

(5) その他

- ・部門員の増員促進 令和4年度 2名増員
- ・認知症キャラバンメイト養成研修
参加者：橋本 貴之
- ・日本作業療法士協会 認知症作業療法推進委員会からの依頼
内容：各県都道府県士会の認知症関連に関する活動報告
- ・日本作業療法士協会 認知症に関わる士会担当者意見交換会への参加
日時：令和4年1月30日（日）13時～16時 WEB開催
参加者：近藤 竜也、山内 保輝
- ・委員会開催：令和3年度10回

[精神障がい支援部門]

(1) 部門会議

令和3年 6月22日

令和3年 11月 2日

令和4年 2月24日

令和4年 3月 2日 いずれもオンライン会議で実施

(2) 高校生向け職業紹介（精神科作業療法）スライド作成

(3) 部門内研修会「WRAP体験」実施 オンラインにて

(4) 愛媛県障がい者バレーボール練習会は感染症予防のため今年度も実施なし

[発達障害支援部門]

(1) 委員会開催：年4回

開催場所：愛媛県立子ども療育センター

開催日時：コロナウイルス感染症により、事業実施を見送った

(2) 研修会：年1回：第9回発達支援研修会

開催日時：コロナウイルス感染症により、事業実施を見送った

(3) OT対象勉強会：年1回

日程：コロナウイルス感染症により、事業実施を見送った

[災害リハビリテーション支援部門]

(1) 災害リハビリテーション支援部門会

年3回実施（6月、10月、2月）

(2) 四国OT災害リハビリテーション連携会議

3回実施（7月、12月、2月）

- (3) 令和3年度 災害リハビリテーション研修会実施
参加者 34名 WEB 開催
講演 1 風水害を考える
講師：中村 匡秀(済生会松山病院 作業療法士)
講演 2 水害 過去の経験から学ぶ
講師：中塚 翔三(介護老人保健施設アンジュ 作業療法士)
- (4) 令和3年度 災害時緊急連絡網訓練
参加施設 71件中 53件の返信
(南予地区会員施設、愛媛県作業療法士会理事、災害リハ支援部門員)
→結果より今後の連絡体制構築の検討を実施
- (5) 愛媛県災害リハビリテーション連絡協議会の活動への参加協力
理事会参加、研修会実施、災害時福祉支援連絡会議への参加等

[難病支援部門]

- (1) 委員会の組織化および委員の選定
現在南予地区1名、中予地区3名、東予地区0名。各地区2名ずつの配置に向けて情報収集及び働きかけを実施する。
- (2) 難病支援を行っている家族会等への協力講師派遣
2021. 11. 18 松山市の難病患者相談会にて講師（松山市保健所より依頼）
対象：(19名)パーキンソン病、脊髄小脳変性症、多系統萎縮症、進行性核上性麻痺患者10名、
家族9名
- (3) (愛大医学部附属病院総合診療サポートセンター内) 難病相談支援センターのコーディネーターと対談（電話にて）
愛媛県における現状把握及び課題の確認。
・在宅でのコミュニケーション支援において機器やその他のツール使いこなせていないケースや視線入力などのコミュニケーション支援を導入するタイミングなど。
課題は、ネットワーク作りであり、顔の見える横の繋がりを構築する必要がある（気軽に相談できる関係性等）。また、県内の各地域（差）における患者のソフト面・ハード面の共有、先輩患者や家族の意見の見える化。課題そのものを共有することが必要である。
- (4) 研修会の発信 HP など
令和3年11月23日開催の日本ALS協会愛媛県支部東予講演会・交流会の情報を県士会のHPへ掲載。
- (5) 部会（年一回）
開催：令和3年11月22日にWEBにて実施
内容：近況報告含め、現在どのような形で各自が難病支援に取り組んでいるかの情報共有を行った。増員に関して、各部員は他院や生活期の情報を収集し、今後のメンバーを検討。南予エリアは訪問看護ステーションへ打診中。東予エリア絞り込み中。
作業療法士に限らずコメディカルとの連携・横のネットワークを構築し活動の幅を広げていく。また難病支援に関わる他団体や家族会へ引き続き協力体制（講師派遣など）で動く。
次年度、難病支援部門における研修会を企画・開催予定。

2) 事業部（公開講座実行部門、活動集作成部門、支援部門）

- (1) 事業内容部会開催：5回開催
開催日：令和3年4月7日、7月7日、10月7日、11月10日、令和4年1月12日
開催方法：オンライン会議
- (2) 公開講座の開催
開催日：令和3年10月17日（土曜日）
場所：松前総合文化センター
開催方法：オンラインと会場参加の併用（ハイブリッド開催）
内容：テーマ：『高次脳機能障害を有する方の自動車運転再開に向けた取り組み』
特別講演：一般社団法人日本作業療法士協会 理事 岩佐 英志 先生

講 演：松山リハビリテーション病院 作業療法士 清水 勇志 先生
西条市民病院 作業療法士 山口 千比呂 先生
伊予病院 作業療法士 成田 郁美 先生

参加者：会員 61 名 多職種及び一般 36 名 計 97 名

(3) 活動集（お役立ち集）の作成

- ・公開講座テーマにあわせ、『作業療法士による高次脳機能障害への支援』で作成
高次脳機能支援部門の方々の協力のもと作成
主には、事例紹介 4 事例、高次脳機能障害に関する相談窓口の紹介
- ・発行部数 150 部 希望者への郵送での配布数 34 部

(4) 地域に関わる作業療法士養成事業

開催日：令和 3 年 11 月 27 日（土曜日）

場 所：Web 研修

内 容：『地域包括ケアに関する基礎知識と作業療法士の役割』

株式会社 アクティブサポート 作業療法士 藤田 健次 先生

『今治市における自立支援型地域ケア会議の紹介』

美須賀病院 作業療法士 久保 健二 先生

『西条市における介護予防事業』

西条市民病院 作業療法士 近藤 竜也 先生

参加者：会員 27 名 計 27 名

(5) 作業療法啓発活動

公開講座での活動集の紹介・配布

(6) 派遣事業（スカラシップ制度）

令和 3 年度はスカラシップへの申し込みがなかった為、非実施

5. 渉外・広報局（渉外部、広報啓発部）

1) 渉外部（折衝調整部門、派遣事業部門）

- (1) 四国作業療法士会会議派遣
- (2) 伊予銀行宮崎要奨学資金選考会議派遣
- (3) JDDnet 愛媛総会派遣
- (4) JDDnet 愛媛定例会派遣
- (5) 伊予銀行ケース会議派遣
- (6) 松前町事業会議派遣
- (7) 渉外部会

2) 広報啓発部（ニュース作成、発行部門）

- (1) 会報誌「坊っちゃんニュース」の作成
令和 2 年 8 月 坊っちゃんニュース 92 号発行
令和 2 年 12 月 坊っちゃんニュース 93 号発行
令和 3 年 3 月 坊っちゃんニュース 94 号発行
- (2) 一般の方に向けての広報活動
令和 3 年 8 月 5 日に高校生施設 Web 見学会を開催し、合計 24 名の高校生が参加した。
広報啓発部からは講師 1 名と司会 1 名を広報啓発部から参加し、高校生からの質問に返答した。
- (3) ホームページや SNS の管理
ホームページの更新の際に Twitter に紐付けして自動で提示されるようにした。
また、ホームページに各部局から情報を掲載できるように広報啓発部から講師 1 名が Microsoft Teams を使用して、各部局長などを対象にリモートで操作方法をレクチャーした。

V. 特設委員会（四国学会実行委員、訪問リハ実行委員、臨床実習指導者講習会運営委員）

1) 臨床実習指導者講習会運営委員会

(1) 令和3年度 第1回臨床実習指導者講習会

日 時：令和4年1月29日（土）・30日（日）

1日目 9:00～18:50 2日目 8:45～16:05

会 場：WEB 開催（ZOOM）

講師およびファシリテーター：11名

参加者：59名

(2) 令和3年度 第2回臨床実習指導者講習会

日 時：令和4年3月19日（土）・20日（日）

1日目 9:00～18:50 2日目 8:45～16:05

会 場：WEB 開催（ZOOM）

講師およびファシリテーター：12名

参加者：60名

VI. 士会の社会貢献等

士会より委員等を派遣している都道府県等の委員会・審議会等について

(主催者・委員会・審議会名称)	(役名)
1. 愛媛県医師会 愛媛県医療推進協議会	理事
2. 愛媛県教育委員会 知的障がい通級指導検討会	委員
3. 愛媛県教育委員会 特別な支援を必要とする子どもの理解と支援 (冊子)	監修委員
4. 愛媛県災害リハビリテーション連絡協議会	役員
5. 愛媛県社会福祉協議会 福祉用具・住宅改修普及促進委員会	委員
6. 愛媛県社会福祉協議会 介護実習・普及センター運営委員会	委員
7. 愛媛県社会福祉協議会 災害時福祉支援地域連携事業災害時福祉支援連絡会	委員
8. 愛媛県高次脳機能障害支援連絡協議会	委員
9. 愛媛県特別支援教育推進制度連絡協議会	委員
10. 愛媛県リハビリテーション研究会	委員
11. 愛媛県リハビリテーション専門職協会	理事
12. 各市町 介護認定審査会	委員
13. 各市町 障害程度区分 認定審査会	委員
14. 西予市地域ケア会議推進事業	委員
15. 東温市 特別支援教育推進制度連絡協議会	委員
16. 東温市地域包括ケア推進会議	委員
17. 日本 ALS 協会コミュニケーション支援体制構築事業	委員
18. 松山市 松山市介護支援専門員協議会	監事・委員
19. 松山市 松山市社会福祉審議会	委員
20. 松山市 地域認知症ケアマネジメント委員会	委員
21. 松山市 地域包括支援センター運営協議会	委員
22. 松山市 社会福祉施設整備審査会	副委員長

士会より講師・相談員・指導者等を派遣した事業について

(主催者・事業名)	(要請内容)
1. 今治市地域包括支援センター運営協議会委員、自立支援型地域ケア会議	助言者
2. 愛媛県社会福祉協議会 介護実習普及センター	講師
3. 愛媛県 介護支援専門員実務研修及び専門研修	講師
4. 愛媛高次脳機能障害者を支援する会「あい」 家族会	助言者
5. 砥部町社会福祉協議会 砥部町社協福祉フェスタ	相談員
6. 四国中央市 認知症予防講演会	講師
7. 四国中央市 リハビリ専門職地域情報交換会	発言者
8. 西条市社会福祉協議会 シニアライフ応援講座	講師
9. 西条市・大洲市・西予市・内子町 介護予防のための地域ケア個別会議	助言者
10. 東温市 地域ケア個別会議	助言者
11. 砥部町 砥部町地域ケア個別会議	助言者
12. 松前町 地域リハビリテーション活動支援事業 (介護予防)	講師
13. 松前町 松前町地域ケア個別会議	助言者
14. 松前町 認知症家族の会愛媛県支部活動協力	街頭活動
15. 松山市 松山市ケアプラン検討会	助言者
16. 松山リハビリテーション病院 一般社団法人日本損害保険協会助成事業 リハビリテーション講習会	講師
17. 新居浜市 地域ケア個別会議	助言者
18. 認知症家族の会愛媛県支部 講演会	講師

第2号議案：令和3年度 決算報告について

令和3年度決算報告書（自令和3年4月1日 至令和4年3月31日）

貸借対照表

令和4年3月31日現在

(単位：円)

勘定科目	当年度	前年度	増減
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金	434,640	514,258	-79,618
普通預金	6,504,135	9,676,710	-3,172,575
定期預金	250,160	250,130	30
立替金	0	0	0
未収入金	1,110,200	304,000	806,200
前払費用	68,766	30,000	38,766
流動資産合計	8,367,901	10,775,098	-2,407,197
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
特定積立預金	0	0	0
(2) その他の固定資産			
器具・備品	2	2	0
固定資産合計	2	2	0
資産合計	8,367,903	10,775,100	-2,407,197
II. 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	6,000	389,806	-383,806
預り金	42,108	84,122	-42,014
負債合計	48,108	473,928	-425,820
III. 正味財産の部			
1. 指定正味財産	0	0	0
指定資産合計	0	0	0
2. 一般正味財産	8,319,795	10,301,172	-1,981,377
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	
正味財産合計	8,319,795	10,301,172	-1,981,377
負債及び正味財産合計	8,367,903	10,775,100	-2,407,197

貸借対照表内訳表

令和4年3月31日現在

(単位：円)

勘定科目	公益目的事業会計	法人会計	合計
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金	237,978	196,662	434,640
普通預金	650,000	5,854,135	6,504,135
定期預金	0	250,160	250,160
立替金	0	0	0
未収入金	843,200	267,000	1,110,200
前払費用	41,266	27,500	68,766
流動資産合計	1,772,444	6,595,457	8,367,901
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
特定積立預金	0	0	0
(2) その他の固定資産			
器具・備品	2	0	2
固定資産合計	2	0	2
資産合計	1,772,446	6,595,457	8,367,903
II. 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	6,000	0	6,000
預り金	16,000	26,108	42,108
負債合計	22,000	26,108	48,108
III. 正味財産の部			
1. 指定正味財産	0	0	
指定資産合計	0	0	0
2. 一般正味財産	1,750,446	6,569,349	8,319,795
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	1,750,446	6,569,349	8,319,795
負債及び正味財産合計	1,772,446	6,595,457	8,367,903

正味財産増減計算書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常利益			
①特定資産運用益			
特定資産受取利息	0	0	0
②受取入会金			
受取入会金	90,000	118,000	-28,000
③受取会費			
正会員会費	6,042,000	9,352,000	-3,310,000
賛助会員会費	0	0	0
④受取補助金等			
受取補助金	50,000	112,000	-62,000
⑤受取寄付金			
受取寄付金	0	0	0
⑥受取事業収入			
受託事業収入	843,200	0	843,200
研修会等参加費収入	170,500	11,000	159,500
その他	0	0	0
⑦雑収入			
受取利息収入	127	130	-3
その他	0	0	0
経常収益計	7,195,827	9,593,130	-2,397,303
(2) 経常費用			
①事業費			
会議費	895,000	635,600	259,400
旅費交通費	220,954	247,030	-26,076
通信運搬費	1,277,786	929,103	348,683
減価償却費	0	0	0
消耗什器備品費	504,238	90,047	414,191
印刷製本費	1,106,040	1,304,150	-198,110
会場費	21,900	80,020	-58,120
保険料	30,000	30,000	0
諸謝金	1,825,864	777,280	1,048,584
支払負担金	1,029,730	222,000	807,730
支払手数料	15,800	135,026	-119,226
事業費計	6,927,312	4,450,256	2,477,056
②管理費			
福利厚生費	0	0	0
会議費	183,090	182,380	710
旅費交通費	63,440	171,110	-107,670
通信運搬費	784,928	638,968	145,960
消耗什器備品費	91,690	77,232	14,458
印刷製本費	291,400	361,900	-70,500
支払負担金	0	0	0
支払手数料	340,504	388,816	-48,312
賛助会費	8,000	8,000	0
光熱水料費	84,840	75,950	8,890
賃借料	330,000	330,000	0
修繕費	0	0	0
雑費	72,000	206,700	-134,700
管理費計	2,249,892	2,441,056	-191,164
経常費用計	9,177,204	6,891,312	2,285,892
評価損益等調整前当期計上増減額	-1,981,377	2,701,818	-4,683,195
評価損益等	0	0	0
当期経常増減額	-1,981,377	2,701,818	-4,683,195
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計へ振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	-1,981,377	2,701,818	-4,683,195
一般正味財産期首残高	10,301,172	7,599,354	2,701,818
一般正味財産期末残高	8,319,795	10,301,172	-1,981,377
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	8,319,795	10,301,172	-1,981,377

正味財産増減計算書内訳表

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位:円)

科目	公益目的 事業会計	法人会計	合計
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常利益			
① 特定資産運用益			
特定資産受取利息	0	0	0
② 受取入会金			
受取入会金	45,000	45,000	90,000
③ 受取会費			
正会員会費	3,021,000	3,021,000	6,042,000
賛助会員会費	0	0	0
④ 受取補助金			
受取補助金	50,000	0	50,000
⑤ 受取寄付金			
受取寄付金	0	0	0
⑥ 受取事業収入			
受託事業収入	843,200	0	843,200
研修会等参加費収入	170,500	0	170,500
その他	0	0	0
⑦ 雑収入			
受取利息収入	0	127	127
その他	0	0	0
経常収益計	4,129,700	3,066,127	7,195,827
(2) 経常費用			
① 事業費			
会議費	895,000	0	895,000
旅費交通費	220,954	0	220,954
通信運搬費	1,277,786	0	1,277,786
減価償却費	0	0	0
消耗什器備品費	504,238	0	504,238
印刷製本費	1,106,040	0	1,106,040
会場費	21,900	0	21,900
保険料	30,000	0	30,000
諸謝金	1,825,864	0	1,825,864
支払負担金	1,029,730	0	1,029,730
支払手数料	15,800	0	15,800
事業費計	6,927,312	0	6,927,312
② 管理費			
福利厚生費	0	0	0
会議費	0	183,090	183,090
旅費交通費	0	63,440	63,440
通信運搬費	0	784,928	784,928
消耗什器備品費	0	91,690	91,690
印刷製本費	0	291,400	291,400
支払負担金	0	0	0
支払手数料	0	340,504	340,504
賛助会費	0	8,000	8,000
光熱水料費	0	84,840	84,840
賃借料	0	330,000	330,000
修繕費	0	0	0
雑費	0	72,000	72,000
管理費計	0	2,249,892	2,249,892
経常費用計	6,927,312	2,249,892	9,177,204
評価損益等調整前当期計上増減額	-2,797,612	816,235	-1,981,377
評価損益等	0	0	0
当期経常増減額	-2,797,612	816,235	-1,981,377
2. 経常外増減の部			0
(1) 経常外収益			0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計へ振替額	2,977,852	-2,977,852	0
当期一般正味財産増減額	180,240	-2,161,617	-1,981,377
一般正味財産期首残高	1,570,206	8,730,966	10,301,172
一般正味財産期末残高	1,750,446	6,569,349	8,319,795
II 指定正味財産増減の部			0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	1,750,446	6,569,349	8,319,795

財 産 目 録

令和4年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)	現金	手元保管	運転資金として	434,640
	預金	普通預金 伊予銀行 川内支店	運転資金として	6,504,135
		定期預金 伊予銀行 川内支店	運転資金として	250,160
	未収入金	会員に対するもの	会費等の未収分	267,000
		受託事業に対するもの	受託事業収入の未収分	843,200
	前払費用	令和4年度保険料	保険料	30,000
		令和4年度HP管理料	支払手数料	11,266
		令和4年度賃借料	事務所4月家賃	27,500
流動資産合計				8,367,901
(固定資産)				
その他の固定資産	什器備品	プロジェクター、プリンター	公益目的事業会計に使用している。	2
固定資産合計				2
資産合計				8,367,903
(流動負債)				
未払金	令和3年度会議費	事業費の会議費	3,000	
	令和3年度通信運搬費	事業費の通信運搬費	3,000	
預り金	平成26年度正会員会費	会費等の未返金分	108	
	平成29年度正会員会費	会費等の未返金分	10,000	
	新居浜地域包括支援	謝礼の預り分	32,000	
流動負債合計				48,108
負債合計				48,108
正味財産				8,319,795

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

該当事項はありません。

2. 引当金の明細

該当事項はありません。

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法
定額法による

(2) 消費税等の会計処理
税込経理による

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高
該当事項はありません。

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳
該当事項はありません。

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高（直接法により減価償却を行っている場合）

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

（単位：円）

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	751,800	751,798	2
合計	751,800	751,798	2

第3号議案：令和3年度 監査報告について

監 査 報 告 書

公益社団法人 愛媛県作業療法士会
会 長 池 之 上 卓 治 殿

報告書作成日：令和4年 5月16日
公益社団法人 愛媛県作業療法士会

監 事

三澤 隆 

監 事

岸 治代 

- I 公益社団法人 愛媛県作業療法士会定款第35条に基づいて、令和3年4月1日から令和4年3月31日までの事業年度の業務及び会計について監査いたしました。業務は当該事業年度に係る事業報告及びその付属明細書、会計は当該事業年度に係る貸借対照表、損益計算書及びその付属明細書並びに財産目録を監査いたしました。
- II 事業報告及び財務諸表の監査に当たっては、必要と認めた監査手続きを実施致しました。
- III 監査の結果、上記事業報告及び財務諸表がいずれも適法かつ妥当であることを認めます。

資料

令和4年度 役員・部局員・委員会委員

理事

会長	池之上 卓治	(河原医療大学校)
副会長	福田 靖	(愛媛十全医療学院)
副会長・事業局	高尾 和宏	(済生会今治病院)
副会長・事務局長	丹生谷 哲哉	(愛媛十全医療学院)
事務局次長	菅 隆一	(松山リハビリテーション病院)
企画調整部	土居 玲香	(北条病院)
学術局	沖 信吾	(総合リハビリテーション伊予病院)
男女共同参画	玉井 美緒	(松山シルバー北条指定通所介護事業所)
制度対策局	篠森 丞	(松山赤十字病院)
地域局・東予地区	塩崎 定義	(特別養護老人ホーム プラチナプレイス)
南予地区	山川 泰輝	(さくら介護)
中予地区	中村 匡秀	(済生会松山病院)
支援部門	林 美里	(愛媛県中央病院)
渉外・広報局	石川 弘幸	(四国中央医療福祉総合学院)

監事

三澤 一登	(愛媛十全医療学院)
岸 治代	(指定居宅介護支援センター おとなりさん)

選挙管理委員会

委員長	河端 祥之	(愛媛県立子ども療育センター)
副委員長	白石 麻貴	(愛媛県立今治病院)
委員	石山 健太	(愛媛県立今治病院)
	加地 正憲	(愛媛県立子ども療育センター)
	河野 宗一郎	(愛媛県立子ども療育センター)

法人管理運営部門

<事務局>

理事・事務局長	丹生谷 哲哉	(愛媛十全医療学院)
理事・事務局次長	菅 隆一	(松山リハビリテーション病院)
部 員	大西 真二	(愛媛十全医療学院)
	受川 透	(愛媛十全医療学院)

[総務部]

部 長	北岡 翔	(四国中央医療福祉総合学院)
副部長	高島 進	(愛媛十全医療学院附属病院)
会 計	田米 祥子	(介護老人保健施設 アイリス)
部 員	石川 弘幸	(四国中央医療福祉総合学院)
	二宮 享介	(四国中央医療福祉総合学院)
	香川 久圭	(四国中央医療福祉総合学院)
	白石 武士	(四国中央医療福祉総合学院)
	中越 雄也	(四国中央医療福祉総合学院)

[管理部]

部 長	平岡 泰志	(デイサービス To-be)
副部長	安永 修久	(十全医療学院)

部 員 石川 武史（愛媛十全医療学院附属病院）
坂本 祥太（愛媛十全医療学院附属病院）

[財務部]

部 長 井上 浩二（道後温泉病院）
会 計 木下 清美（愛媛十全医療学院）
部 員 赤松 和紀（道後温泉病院）
福積 のりこ（真光園）

[倫理委員会]

委員長 岸 治代（指定居宅介護支援センター おとなりさん）
会 計 木村 志保（訪問看護ステーション たかのご館）
中予地区 菅 隆一（松山リハビリテーション病院）
大西 恵子（介護老人保健施設 高井の里）
南予地区 大隅 奈花（くじら病院）

[規約委員会]

委員長 町尻 拓真（松山リハビリテーション病院）
会 計 武内 俊憲（市立大洲病院）

[企画調整部]

理事・部長 土居 玲香（北条病院）
副部長 西岡 典昭（訪問看護ステーション みかん）

公益目的事業部門

<学術局、制度対策局、地域局>

理事 福田 靖（愛媛十全医療学院）

<学術局>

理事 沖 信吾（総合リハビリテーション伊予病院）

[学術局 学術部]

部 長 西原 慎太郎（松山市民病）
副部長 一ノ宮 哲朗（総合リハビリテーション伊予病院）
補 佐 高岡 宏（松山赤十字病院）
会 計 猪木 祥智（済生会松山訪問看護ステーション）
事務局 井手 梓（愛媛県立今治病院）

○中枢疾患担当

平野 智彦（松山リハビリテーション病院）
岡田 英剛（南松山病院）

○整形疾患担当

中村 匡秀（済生会松山病院）
神田 明哉（松山生協病院）

○発達小児担当

篠森 麻衣子（愛媛県立子ども療育センター）
餌原 洋輔（松山市民病院）
受川 透（愛媛十全医療学院）

○精神疾患担当

曾我部 龍一（久米病院）

○地域在宅担当

城本 拓哉（味酒野ていれぎ荘）

田部井 陽（砥部病院）

日野 雅文（老人保健施設 れんげ荘）

○内部障害担当

村上 光帆子（HITO 病院）

佐々木 隆一（済生会松山病院）

○学術誌編集部門

大坂 晃司（株式会社 ライフネット）

高橋 誓太（HITO 病院）

近藤 真衣（HITO 病院）

[学術局 県学会運営部門]

部長 検討中

会計 西岡 貴人（松山リハビリテーション病院）

書記 清水 亮芳（大洲記念病院）

部員 山田 太一（HITO 病院）

高橋 直寿（HITO 病院）

渡辺 陽介（宇和島徳州会病院）

大野 紗苗（松山記念病院）

福田 修治（松山シルバー北条指定通所介護事業所）

西岡 貴人（大洲中央病院）

[学術局 教育部]

部長 武智 誠（介護老人保健施設 ひまわり）

副部長 川井 大輝（介護老人保健施設 ひまわり）

事務局 田中 貴大（総合リハビリテーション伊予病院）

西山 沙希（総合リハビリテーション伊予病院）

会計 川口 奈々（介護老人保健施設 ひまわり）

部員 浅野 奈緒（総合リハビリテーション伊予病院）

青山 舞（総合リハビリテーション伊予病院）

高橋 良太（介護老人保健施設 ひまわり）

<制度対策局>

理事 篠森 丞（松山赤十字病院）

[制度対策局 制度対策部]

部長 近藤 優磨（訪問看護ステーション 安信）

副部長 加藤 真弘（松山リハビリテーション病院）

○福祉用具支援部門

部門長 白方 一範（松山リハビリテーション病院）

副部門長 眞鍋 綱介（松山赤十字病院）

会計 村田 早紀（松山リハビリテーション病院）

部員 正岡 佑次（株式会社 CLEARs）

萬條 翔也（HITO 病院）

川崎 祐太郎 (松山赤十字病院)
岡田 英剛 (南松山病院)
山内 保輝 (デイサービス フレンズ)
澤田 健吾 (おおぞら病院)
大塩 真実 (松山リハビリテーション病院)
竹尾 昂洗 (南松山病院)

○制度対策部門 (情報収取調査)

部門長 加藤 真弘 (松山リハビリテーション病院)
副部門長 小島 一洋 (松山リハビリテーション病院)
会 計 高橋 幸規 (松山リハビリテーション病院)
宮藤 千晶 (大洲中央病院)
部 員 近藤 宏 (済生会今治第二病院)
東中 優樹 (介護老人保健施設 長安)
白石 隆二 (松山記念病院)

[制度対策局 松前事業]

部 長 川崎 祐太郎 (松山赤十字病院)
副部長 岡田 英剛 (南松山病院)
会 計 穂木 貴紀 (松山リハビリテーション病院)
藤原 美紗子 (松山リハビリテーション病院)
部 員 山本 真美 (松山リハビリテーション病院)
眞鍋 綱介 (松山赤十字病院)
中村 匡秀 (済生会松山病院)
篠森 丞 (松山赤十字病院)
沖 信吾 (伊予病院)
浅野 奈緒 (伊予病院)
小林 史明 (松山リハビリテーション病院)
吉野 勝哉 (株式会社 ライフネット)
澤田 健吾 (おおぞら病院)
平 奈津美 (訪問看護ステーション アルク)
白方 一範 (松山リハビリテーション病院)
黒田 弥生 (道後温泉病院)
竹尾 昂洗 (南松山病院)

[制度対策局 男女共同参画]

理事・部長 玉井 美緒 (松山シルバー北条指定通所介護事業所)
部 員 白石 裕子 (松山市児童発達支援センター ひまわり園)
毛利 志保 (愛媛リハビリ居宅介護支援センター)

<地域局>

理事 塩崎 定義 (特別養護老人ホーム プラチナプレイス)

[南予地区]

理 事 山川 泰輝 (さくら介護)
代 表 多田 敦博 (双岩病院)
副代表 西谷 郷平 (訪問看護ステーション ひまわり)
会 計 大野 宏侑 (宇和島病院)
部 員 兵頭 紳吾 (訪問看護ステーション 希望の風)
船田 將悟 (市立大洲病院)
片山 俊樹 (加戸病院)

河野 哲也 (JCHO 宇和島病院付属介護老人保健施設)
芳谷 洋樹 (真網代くじらリハビリテーション病院)
一分片 陽介 (南宇和病院)
梶原 清次 (西予市民病院)

[中予地区]

理事 中村 匡秀 (済生会松山病院)
部門長 星川 侑輝 (松山リハビリテーション病院)
副部門長 平野 智彦 (松山リハビリテーション病院)
会計 石田 智恵子 (松山リハビリテーション病院)
加藤 裕里愛 (松山リハビリテーション病院)
部員 加藤 真弘 (松山リハビリテーション病院)
高須賀 友秀 (老人保健施設 長安)
青山 舞 (総合リハビリテーション伊予病院)
田部井 陽 (砥部病院)

[東予地区]

理事 塩崎 定義 (特別養護老人ホーム プラチナプレイス)
代表 日淺 尊之 (社会福祉法人 来島会 今治福祉園)
副代表 平田 高之 (吉野病院)
大崎 雅俊 (HITO 病院)
書記 兵藤 仁美 (老人保健施設 あすか)
浮田 奈央子 (老人保健施設 ゆるぎ荘)
会計 中矢 英孝 (今治市社会福祉協議会 介護支援センター伯方)
部員 阿部 峰之 (済生会今治第二病院)
池田 裕子 (住友別子病院)
井上 諒 (美須賀病院)
岸 治代 (指定居宅介護支援センター おとなりさん)
久保 健二 (美須賀病院)
近藤 絵里香 (村上記念病院)
近藤 竜也 (西条市民病院)
橋本 貴之 (宮下整形外科内科)
花井 隆史 (介護老人福祉施設ハートランド 三恵)
増田 和也 (松風病院)
山内 由香里 (老人保健施設 あすか)
山田 太一 (HITO 病院)

<事業局、涉外・広報啓発部>

理事 高尾 和宏 (済生会今治病院)

<事業局>

理事 高尾 和宏 (済生会今治病院)

[事業局 支援部門]

理事 林 美里 (愛媛県中央病院)

○高次脳機能障害支援部門

部門長 平野 智彦 (松山リハビリテーション病院)
会計 矢野 智浩 (済生会西条病院)
清水 真里枝 (総合リハビリテーション伊予病院)
部員 大野 竜馬 (松山記念病院)

石川	美奈	(HITO 病院)
佐藤	弘幸	(HITO 病院)
鈴木	京	(西条市民病院)
櫛部	拓也	(済生会今治第二病院)
花田	智仁	(松山リハビリテーション病院)
水木	彰宏	(松山リハビリテーション病院)
山崎	航	(大洲中央病院)
浦瀬	康太	(市立宇和島病院)
成田	郁美	(総合リハビリテーション伊予病院)
清水	勇志	(松山リハビリテーション病院)
藤本	浩輝	(片木脳神経外科)

○認知症地域支援部門

部門長	近藤 竜也	(西条市民病院)
副部門長	山内 保輝	(デイサービス フレンズ)
会計	橋本 貴之	(宮下整形外科内科)
書記	山本 真美	(松山リハビリテーション病院)
委員	藤田 健次	(株式会社アクティブサポート)
	岸 治代	(指定居宅介護支援センター おとなりさん)
	塩崎 定義	(特別養護老人ホーム プラチナプレイス)
	大崎 雅俊	(HITO 病院)
	山内 由香里	(老人保健施設 あすか)
	花井 隆史	(介護老人福祉施設 ハートランド三恵)
	沖 信吾	(総合リハビリテーション伊予病院)
	岡本 直也	(介護老人保健施設 ひまわり)
	武智 誠	(介護老人保健施設 ひまわり)
	中塚 翔三	(有料介護付老人ホーム To-be)
	藤原 美紗子	(松山リハビリテーション病院)
	村田 早紀	(松山リハビリテーション病院)
	水合 唯	(今治第一病院)
	吉岡 志朗	(特別養護老人ホーム 萬翠荘)
	月原 杏奈	(老人保健施設 水都苑)
	中矢 英孝	(今治市社会福祉協議会 介護支援センター伯方)
	三好 康太	(鎌野病院)

○精神障がい支援部門

部門長	尾根沢 祐子	(松山記念病院)
副部門長	倉本 裕子	(松山記念病院)
副部門長	合田 直人	(松風病院)
会計	富永 英樹	(十全ユリノキ病院)
	三宅 亜希	(真光園)
書記	水野 美枝	(平成病院)
	瀬戸 竜太	(くじら病院)
	大西 真二	(愛媛十全医療学院)

○発達障害支援部門

部門長	藤井 雅之	(十全総合病院)
副部門長	加地 正憲	(愛媛県立子ども療育センター)
会計	野田 麻希	(伊予病院)
部員	田内 広子	(愛媛県立子ども療育センター)
	三澤 一登	(愛媛十全医療学院)

辻 多加子 (四国中央市子ども若者発達支援センター)
受川 透 (愛媛十全医療学院)
河端 祥之 (愛媛県立子ども療育センター)
水本 沙織 (松山市児童発達支援センター ひまわり園 地域支援室)
河野 宗一郎 (愛媛県立子ども療育センター)
重見 いつみ (株式会社 愛媛リハビリ訪問看護ステーション)
森脇 美香 (旭川荘南愛媛療育センター)
篠原 由香 (篠原医院)

○災害リハビリテーション支援部門

理事・部門長 中村 匡秀 (済生会松山病院)
副部門長 中迫 紀彦 (県立中央病院)
会 計 田中 省吾 (西予市民病院)
部 員 福本 圭司 (市立宇和島病院)
大西 隼人 (伊予病院)
井出 梓 (県立今治病院)
中塚 翔三 (介護付有料老人ホーム To-be)

○難病支援部門

部門長 余吾 政宏 (総合リハビリテーション伊予病院)
部 員 渡辺 陽介 (宇和島徳洲会病院)
八木 累 (松山ベテル病院)
藤田 健次 (株式会社 アクティブサポート)

[事業局 事業部]

○公開講座・活動集作成部門

部門長 花田 智仁 (松山リハビリテーション病院)
副部門長 佐藤 純也 (吉野病院)
会 計 林 幸治 (介護老人保健施設 ひまわり)
部 員 河田 由紀 (村上記念病院)
山之内 翔子 (松山市民病院)
武智 理樹 (くじら病院)
亀井 文義 (愛媛リハビリ訪問看護ステーション)
渡部 美紀 (大洲記念病院)
小原 巧 (松山リハビリテーション病院)
水木 彰宏 (松山リハビリテーション病院)
伊賀 太一 (美須賀病院)
小川 勝利 (済生会今治病院)

<渉外・広報局>

理 事 石川 弘幸 (四国中央医療福祉総合学院)

[渉外・広報局 渉外部]

部 長 吉野 勝哉 (株式会社ライフネット)
部 員 選考中

[渉外・広報局 広報啓発部]

部 長 佐藤 信治 (道後温泉病院)
会 計 笹木 俊之 (道後温泉病院)
(中予地区)
部 員 大下 直人 (道後温泉病院)

武田 竜児 (道後温泉病院)

仲島 舞 (道後温泉病院)

(東予地区)

部 員 曾我部 侑人 (住友別子病院)

中越 雄也 (四国中央医療福祉総合学院)

(南予地区)

部 員 和氣 太一 (愛ほっと訪問看護ステーション)

福本 圭司 (市立宇和島病院)

(ホームページ担当)

部 員 岡本 壮平 (松風病院)

嶋屋 貴之 (大洲記念病院)

渡部 具哉 (ベストケア訪問看護ステーション)